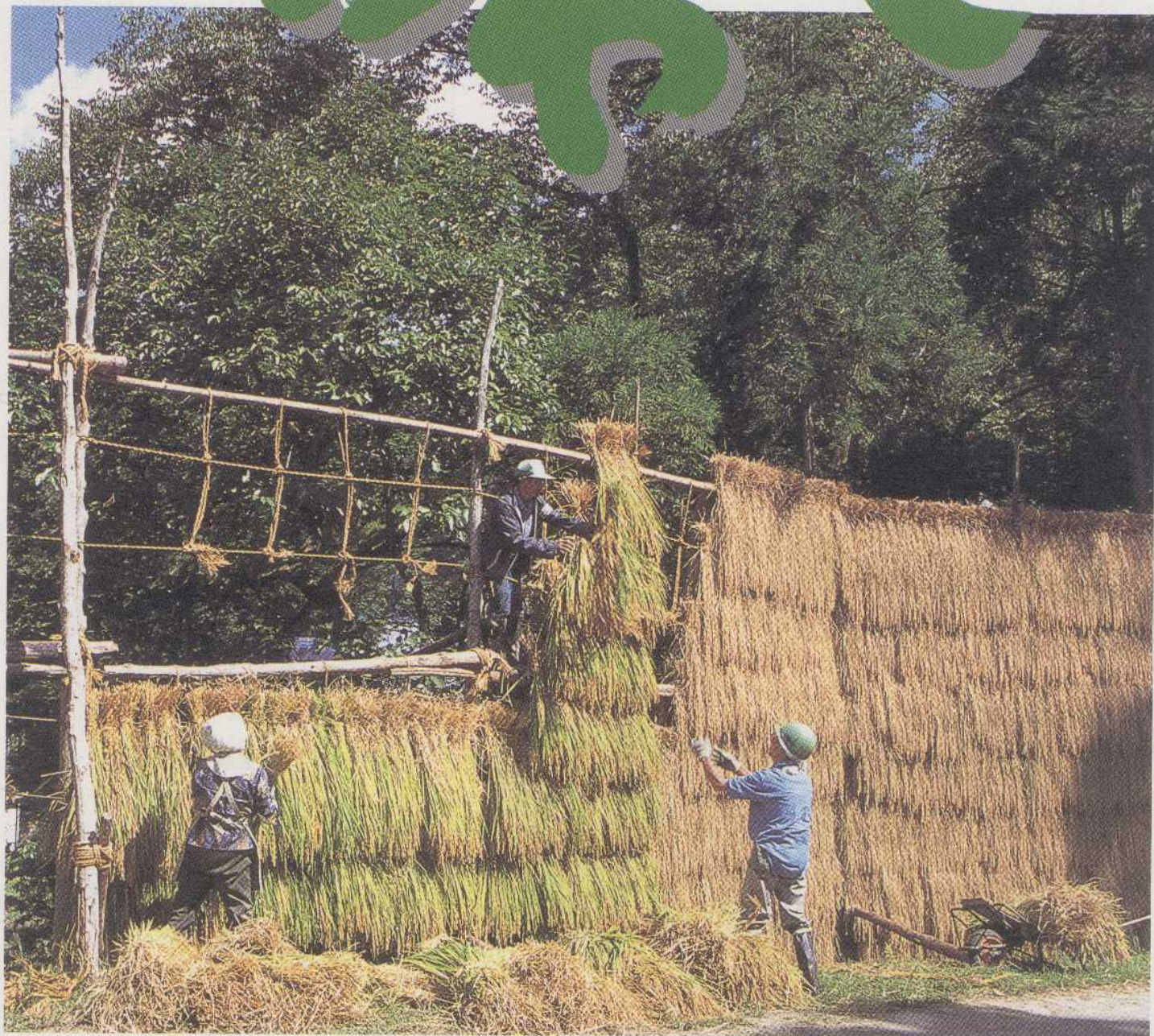


広報

かわいし

NO. 518

平成13年10月10日



知ってますか？
覚えてますか？
干した稲のにおい



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL0257-68-3111 FAX0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail:kawanishi@mail.tiara.or.jp (毎月10日発行)
URL <http://www.town.kawanishi.niigata.jp/>

人口の動き

—10月1日現在—

男	4,084	(±0)
女	4,181	(+1)
計	8,265	(+1)
世帯数	2,299	(-4)
() は前月比較		

本紙は再生紙を使用しています。

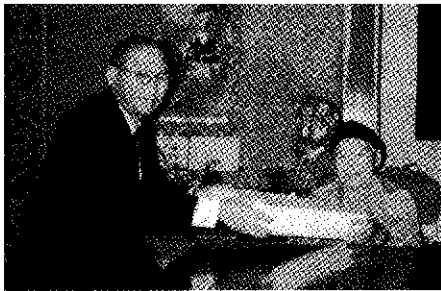
敬老の日になんで、県と町から八十八歳（米寿）三十五人に敬老祝い品が贈られることになり、

米寿のみなさん 横綱を目指して!

十五日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。

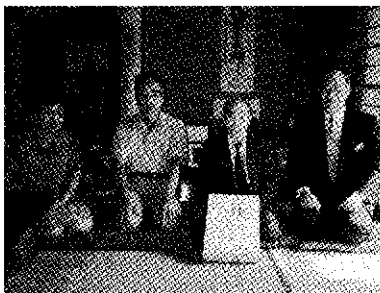
(順不同、敬称略)

田村才一郎(山野田)、北村テ
ル(上町)、小野塚政市(中央町)、
木村鐵雄(田中町)、田邊菊井
(神社町)、佐藤イエ(木島)、星
名一二(伊友)、高橋正雄(高原
田)、金山睦(霜条)、大海正夫
(霜条)、大海フサ(霜条)、高橋
文蔵(あかね園)、丸山幸作(あ
かね園)、渡貫セキ(新町新田)、
樋口深雪(下平新田)、高橋カク
(三領)、高橋キクノ(三領)、小
海アヤ(小根岸)、小海菊太郎
(小根岸)、羽鳥テフ(木落)、清
水シゲ(木落)、相馬ハル(木落)、
木村イセ(仁田)、野澤オキ(野

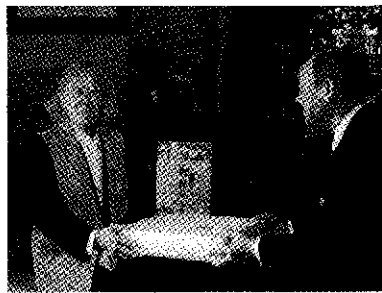


田口町長から記念品を受ける
滋野セツさん(野口)

口)、村越イエ(野口)、五十嵐ト
ラ(野口)、滋野セツ(野口)、片
桐チトエ(根深)、藤田清常(根
深)、佐藤梅作(中仙田)、増田ア
ヤ(室島)、高橋タニ(赤谷)、中
條チエ(岩瀬)、大野良(大白倉)、
桐生ミサヲ(大白倉)



根津収入役と記念写真に収まる
佐藤梅作さん(右から2人目、中仙田)



押木助役から記念品を受ける
小野塚政市さん(中央町)

ところで、今から二十年前の長
寿者番付を見ると、東の横綱九十
八歳、西の横綱九十四歳を筆頭に、
続く大関は九十三歳と九十一歳、
前頭十五枚目にして八十六歳とい
う「若い顔ぶれ」でした。

現在は、十両でも九十一歳。し
かも二十三人もおり、米寿から大
関横綱まで上り詰めるには、まだ
まだ長い道のりがありそうです。

かの有名な「きんさん、ぎんさ
ん」のテレビ等の出演料は、なん
と一百万円前後だったそうで、
記者にそのお金をどうするのかと
尋ねられたとき、「老後のために
貯金します」と答えたといします。

長寿者番付された方々も、これ
からの老後をいかに楽しむか、新
しい生きがいを見つめなおして
みてはいかがでしょうか。

◆ 表紙の写真 ◆

「はあ、稲はほとんど架けてます。昔っ
からこうしてるんだがの」と中条石平さん
(大倉)はこともなげに言います。

約六反歩の稲を架けるカケバは、家の周辺
から山際の林、昔の屋敷林などに点在してい
ますが、「今年は天気が続いたんだが、ハ
力がいっての」と、どこも稲でふさがって
いました。今から30年ほど前まではどこでも
見られたごくあたり前の風景でしたが、町内
でもこうした作業が見られるところは数少
なくなってきました。「昔はわらで何でも作っ
たし、今はいくらでも買い手があって、昔も
今も、稲は無駄にするとこがねやんだての」。

効率的な「米づくり」とは違う、「稲づく
り」の本質がここにはあります。

— contents — 主な内容 — contents —

- P2~3
- ⇒米寿の祝い／長寿者番付／議会報告
..... P4~5
- ⇒これが町のふところ具合
..... P6~7
- ⇒特集＜千手温泉へ行こう！＞
..... P8~10
- ⇒お知らせ／千手温泉／生涯学習
..... P11
- ⇒おらムラの話
..... P12
- ⇒小学校親善陸上大会
..... P13
- ⇒topics-まちの話題／里創プラン
..... P14
- ⇒フォト散歩／ズームアップ役場
..... P15
- ⇒俳壇／くらしとけんこう ほか
..... P16
- ⇒ちいさな展覧会／いっぶくしよぜの

川西町長寿者番付

平成13年9月15日現在

(敬称略)

(平成14年4月1日満年齢)

東						西				
氏名	住所	世帯主	生年月日	年齢		氏名	住所	世帯主	生年月日	年齢
北村 クメ	山野田	日出太	M30. 4.10	104	横綱	数藤 寅治	沖立	寅夫	M34. 4. 3	100
高橋 惣治	室島	寅治	M34. 6. 5	100	大関	田村 チャウ	鶴吉	一策	M35. 7.23	99
田口 キヨ	木落	直正	M36. 1. 7	99	関脇	丸山 宗太郎	下原	本人	M36. 2.26	99
小海 クヨ	小根岸	益男	M36.10.23	98	小結	高橋 ヒサ	中仙	田恒平	M37. 3. 4	98
宮本 貞子	発電所通り	東昌幸	M37.10. 1	97	前頭	柄沢 莊八	沖立	数藤実	M37.12. 7	97
根津 英作	上野	本人	M37.12.21	97	2	渡辺 シゲ	上野	孝平	M38. 1.19	97
田村 カ子	あかね園	本人	M38. 3.27	97	3	星野 ミン	野口	勝平	M38. 4. 4	96
滋野 リヤウ	野口	義雄	M38.10. 8	96	4	高橋 セキ	高倉	明	M39. 2. 9	96
羽鳥 イセ	伊友	昭二	M40. 2. 3	95	5	清水 ミヨ	寺尾	久一	M40. 2.13	95
星名 フミ	あかね園	本人	M40. 3.10	95	6	星名 マサヲ	伊友	和幸	M40. 9.27	94
中村 チャノ	岩瀬	昌弘	M40.11.15	94	7	大井 カツノ	寺尾	佐市	M40.12. 2	94
相馬 周蔵	木落	敏夫	M41. 1.28	94	8	小海 ヨキ	あかね園	本人	M41. 2.24	94
北村 セツ	東善寺	準一	M41. 3.20	94	9	高橋 チカ	あかね園	本人	M41. 4. 1	94
関口 トク	木落	清	M41. 5. 8	93	10	田口 フジ	木落	喜太郎	M41. 9.14	93
今藤 ミセ	上野	清	M41. 9.18	93	11	南雲 マツ	中屋敷	利夫	M41. 9.22	93
田中 利八	仁田	春吉	M41. 11.5	93	12	大井 正司	美咲町	本人	M41.12.13	93
小林 フジエ	木島	松市	M42. 1.31	93	13	高橋 サイ	神社町	庸浩	M42. 3.20	93
高橋 トモ	坪山	嘉右	M42. 3.28	93	14	小川 ソカ	上野	昭一	M42. 4.25	92
小川 ノブ	岩瀬	充	M42. 8. 8	92	15	星名 シウ	沖立	金一	M42. 8.26	92
桐生 梅治	大白倉	本人	M42. 9. 2	92	16	蔵品 マスイ	霜条	清市	M42. 9. 3	92
丸山 フジ	あかね園	本人	M42. 9.15	92	17	真明 キクエ	上町	成光	M42. 9.18	92
米山 一郎	室島	孝行	M42. 9.26	92	18	小林 セツ	中屋敷	英一	M42.10. 6	92
小林 サワ	中屋敷	晃	M42.11. 8	92	19	高橋 きつ	赤谷	直孝	M42.11.10	92
金子 トメ	元町	和男	M42.11.25	92	20	大井 ミヨ	美咲町	正司	M42.12.17	92
小林 市四郎	木島	松市	M42.12.28	92	21	押木 二吉	田戸	篤美	M43. 1.21	92
高橋 ハノ	中仙	田善一	M43. 1.28	92	22	茂野 シゲ	高原	田文司	M43. 2. 5	92
星名 佐平	伊友	敏雄	M43. 2.17	92	23	登坂 キン	中島町	ミサヲ	M43. 3.12	92
小川 ツサ	赤谷	金吾	M43. 3.22	92	24	金子 芳英	岩瀬	本人	M43. 3.22	92
佐藤 ハル	野口	康雄	M43. 4. 1	92	25					

議会報告

九月二十一日から始まった第五回川西町議会定例会は、二十七日に全日程を終え、閉会しました。

二十一日は、諸般の報告や、七人による町政に対する一般質問が行われたあと、各特別委員会の設置などの発議案が可決されました。

二十六日は、平成十二年度川西町一般会計ほか六つの特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算が認定されました。

二十七日は、「川西町税条例の一部を改正する条例」ほか三件の条例改正が原案どおり可決されたあと、「平成十三年度川西町一般会計補正予算(第三号)」ほか二件の特別会計補正予算が原案どおり可決されたほか、四件の発議案が可決されました。



一般質問への答弁のようす

なお、議会の模様は十月二十日発行の「こんにちは議会です」の中で詳しく紹介されますので、ご覧ください。

これが町のふところ具合！

平成12年度 決算

平成十二年度の町の決算が、九月二十六日の議会定例会で認定されました。

このうち、一般会計の概要についてお知らせします。

歳入は、五十九億一千七百四十六万円で、前年度より七・一割増加しました。歳出は、五十五億八千九百四十五万円で、これも、前年度より九・五割増えました。

予算の執行率は九十五・一割で、実質収支は二億七千七百十六万円となっています。

歳入は、町が白らの手で徴収することができ「自主財源」と、国や県から定められた額を交付されたたり割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

自主財源には、町税、負担金、使用料、手数料、寄附金などがあり、依存財源には地方交付税、国県支出金、町債などがあります。

歳入全体における自主財源の比率は、二一九・一割で、前年より二ポイント増えていますが、依然として依存財源の占める割合が大きい状況となっています。

歳出では、ここ数年のビッグプロジェクトの伸びがみられました。

「賑わい空間創出事業」は温泉施設建設事業に着手し、本年十一月のオープンを目前に控えています。

す。「仙田地域総合整備事業」では、中心施設である体験交流館が整備され、本年七月に本格オープンしました。「早創プラン事業」では、昨年開催された大地の芸術祭のメイン施設である光の館関連の整備や、アート作品の設置が行われました。

普通建設事業費は前年に比べて二十五割の伸びとなっていますし、こうした事業を推進するため借り入れた起債（借金）の償還に備えるために、減債基金（貯金）を大幅に増額したことに伴い、積立金が二百五・八割の増となっています。

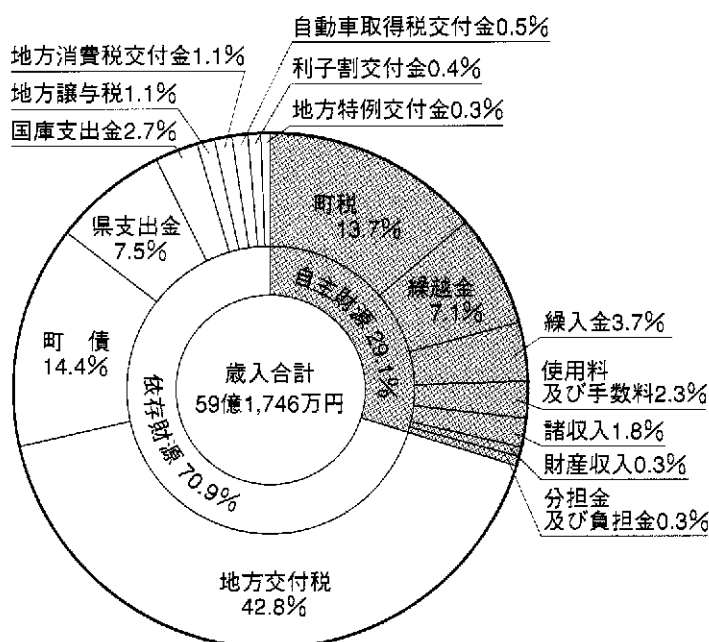
また、介護保険法の施行に伴い、老人保護措置費が大きく減少し、扶助費全体では前年比五十七・六割減少したことが、特徴的なところですが、

町財政の現状は、「貯金も大きい借金も大きい」という状況で、交差点に例えると、黄信号に気がつき、ブレーキを踏んでいるところといえそうです。

今後は、新たな借金を抑えて返済のための貯金を増やしていくなど、財政の健全化対策をさらに進める必要があります。

平成十二年度決算の目的別歳出の内訳は次ページのとおりです。

一般会計 歳入



特別会計 決算

国民健康保険	歳入	6億 354万円
	歳出	5億 6,304万円
国民健康保険診療所	歳入	2億 5,712万円
	歳出	2億 4,961万円
老人保健	歳入	10億 4,264万円
	歳出	10億 2,132万円
簡易水道事業	歳入	1,329万円
	歳出	1,297万円
下水道事業	歳入	3億 7,323万円
	歳出	3億 6,941万円
介護保険	歳入	3億 8,948万円
	歳出	3億 8,744万円

●議会費

7,695万円 (1.4%)

定例会14日、臨時会3日を通して109件の事案を審議したほか、各委員会で付託事件を審査するとともに、先進地行政視察などを行い、自治体の持つ諸課題について研究しました。

●総務費

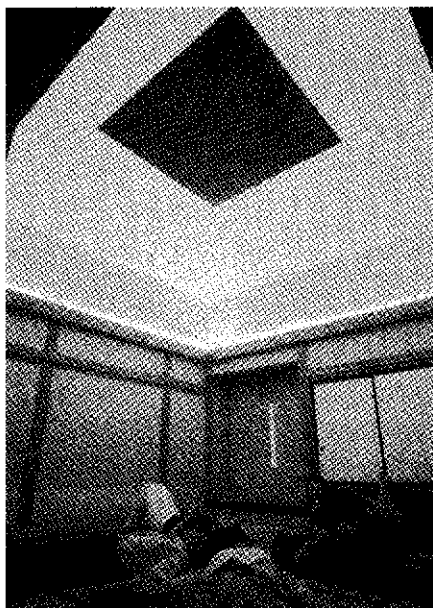
8億1,958万円 (14.7%)

人事、庶務、財政、交通安全、広報などの各分野での対応や、地域振興、町の将来計画、広域事業、税務、戸籍、選挙など多岐にわたる業務に要した費用です。

●商工費

4億2,692万円 (7.6%)

商工業の振興、観光振興などが主なものですが、光の館整備など、広域事業として実施している里創プラン事業も負担金として支出しています。



不思議な光の体験ができる「光の館」は、今年の夏も連日予約でいっぱいでした

●民生費

6億1,208万円 (11.0%)

社会福祉、母子福祉、児童福祉、高齢福祉、障害福祉などのほか、保育所、児童

手当、国民年金などの業務を進めるために要した費用です。

●農林水産業費

7億9,574万円 (14.2%)

稲作や野菜などの農業振興のほか、林業振興、畜産振興、集落環境整備、農地の移動・管理などがありますが、仙田地域総合整備事業が大きな割合を占めています。



7月のオープン以来多くの人々が訪れている仙田体験交流館・道の駅「瀬替えの郷せんだ」

●衛生費

3億8,619万円 (6.9%)

住民検診や予防接種、母子保健、老人保健など、健康と保健に関する業務のほか、ごみリサイクルなど環境衛生の分野の業務も含まれています。

●労働費

1,963万円 (0.3%)

十日町地域シルバー人材センターに委託して実施する業務がほとんどで、役場庁舎や総合センター、総合体育館などの宿日直業務、公園の草刈りなどがあります。

●消防費

1億7,576万円 (3.1%)

十日町地域広域事務組合への負担金として支出されました。町内での平成12年度の火災は9件、西分署の救急車出動は193回ありました。また、消防団員は350人となっています。

●教育費

4億880万円 (7.3%)

学校教育、社会教育、社会体育、学校給食などの教育行政推進に要する費用が主なものですが、中国黒龍江省との卓球交流、山村留学など特徴的な事業も含まれています。

●災害復旧費

2,113万円 (0.4%)

融雪や豪雨による災害で、農地農業用施設1件、道路3件、水路2件の復旧事業が実施されました。融雪の場合は一日200mm、豪雨の場合は24時間最大雨量が80mm以上が採択の基準になります。

●土木費

11億5,623万円 (20.7%)

道路や水路の新設や補修工事、消雪パイプや流雪溝の整備、道路除雪、都市計画や町営住宅に関する費用のほか、千手温泉施設整備を中心とする賑わい空間整備事業などが主なものです。



7月の千手温泉屋根まつりには大勢のひとたちが詰めかけました

●公債費

6億9,044万円 (12.4%)

各種施設の整備工事を実施する際に町が借り入れる起債（借金）の元金や利子の支払いに充てられる費用です。その7割が地方交付税で補填される過疎債が最も多くを占めています。

特集

千手温泉へ行こう！

千手温泉の新しい施設がもうすぐ完成し、十一月のオープンまであと一か月あまりとなりました。

これまで、温泉棟を含めた賑わい空間の計画は住民参加ワークショップを繰り返しながら進めてきましたが、その全体をとりまとめているのが、設計・監理を委託された(株)龍環境計画と、管理・運営を委託された(株)まちづくり川西のみなさんです。新しい温泉施設の設計の考え方と今後の運営のありかたについて、関係者に取材しました。

お話を伺ったのは、次の方々とす。(敬称略)

(株)龍環境計画

内田文雄(代表取締役/48歳)

横川倫子(千手温泉担当/35歳)

(株)まちづくり川西

高橋幸司(常務取締役/51歳)

敷地が生んだ建物の個性

まず、温泉棟の設計の考え方について伺いたいと思います。

位置と建物の関係は？

横川 まず、千手温泉は自然に人が集まる温泉だということがポイントになっています。これは、泉質の良さによるところが大きいんですが、ワークショップを通して賑わい空間の真ん中に置こうというところに落ち着きました。

内田 用地としては一番くびれて狭いところに設置することになっ

たんですが、そのおかげで、弧を描くちよつと変わった建物になりました。もし、四角な敷地だったらこうはならなかったでしょうね。

いばらない建物

— その特徴的な建物には、どんな考えやアイデアが詰まっているのですか？

横川 まず、川西町の建物、例えば公共施設や住宅、蔵など身近なスケールとあまりかけ離れないものになるように心がけました。銭湯感覚で気軽に立ち寄れる千手温泉のイメージを崩さないようにしました。

内田 つまり、「いばった建物」にはしたくなかったんです。だから背の高い建物にはなっていない。また、個々の機能、例えば入

浴、休憩、交流などの空間は、それぞれが独立した単位で収まっている、この空間は、住宅などの日常的な大きさが基本になっています。



「使う人の考えが99%」と設計の基本を語る内田さん

横川 あと、三つを越える雪がこの特徴ですが、その雪をなんとか形にできないかと考えました。それが屋根に現れています。雪を支える大きな屋根が全体をまとめているです。

内田 個々の建物が集まって、ひ

とつ大きな屋根で覆われていると思っただければ結構です。施設をひとつのかたまりにしてしまふのではなく、まわりの家や畑、樹木などとの位置関係を大切にしたいつもりです。これも敷地の特徴から生まれたもののひとつです。

実際に中に入ってもらおうとわかるのですが、建物のところどころに「抜け」の空間を設けてあります。そこからは、近所の家並みや庭木なども目に入るようになっていて、まわりの空間に溶け込むようになっていきます。

横川 まあ、近所の風景を借景しているだけなんですけどね(笑)。

省エネにもいろいろ工夫を取り入れました。

高窓を利用して採光し、なるべく電力を使わないようにしています。建物の構造上、曲面を通して光が入り、時間とともに変化するのも思わぬ効果でした。

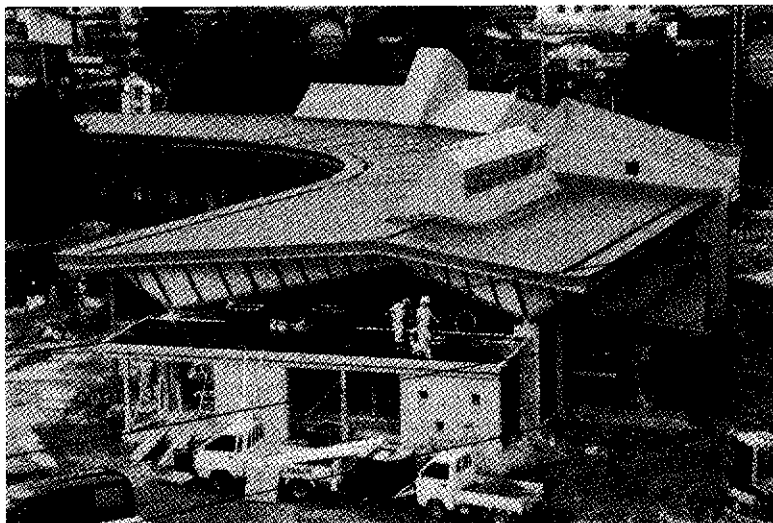
屋根雪は融雪です。また、温泉熱を利用して井戸水を暖め、床暖房の

大吟醸の石？

— 素材にもかなりこだわったということですが？

内田 これまでこの町で培われてきた、特有の空間の「肌合い」を壊したくないというところから出

熱源にしますし、捨てるお湯は駐車場の消雪に利用します。夏は消雪パイプの井戸水を循環させて冷房するシステムを取り入れています。これによって、ランニングコストはかなり低く抑えられると思っています。



仕上げの段階に入った温泉棟

発しています。

板壁、塗り壁、しつこいなどの感触と新しい工法を組み入れたものになっています。このあたりは湿気が多いので調湿する素材を基本に選んでいて、結露を招くビニールクロスなどは一切使っていない。

窓枠も木製でペアガラスを入れています。これも結露対策です。

横川 大工さん、左官屋さんなどのレベルの高さにも支えられました。最近の建築ではコンクリートと新建材を多用したものが多く、在来工法が忘れられているのではないかと心配しましたが、杞憂でした。木取りから組み方まで本当にこだわって取り組んでくれて、たくさん教えられました。耐候性の高い上佐しつこいを塗るために勉強会を開きましたが、東京の職人と地元の人との交流ができたのも良かったと思います。

内田 全体に自然素材を使って、「美しい歳のと리카」をする建築を心がけました。

つまり、現代建築の多くが「出来上がったときが一番美しい」ものになっているのに対して、「歳を経て美しさが仕上がる」ものにしたかったのです。

そのあたりは、こちらの人たちの住空間の作り方は

見事です。

横川 そう、特に土地の境界の作り方はすばらしいと思いました。

——— どういうところが？

横川 塀や壁で土地を仕切ってしまわないで、オープンなやわらかい境界にしているところです。そして、信濃川の玉石を積んで境界にしているところなどはとても美しいと思いました。

内田 それが今回の浴槽につながりました。玉石風呂です。

横川 浴槽が二種類あるんですが、一方が檜風呂で、一方が玉石風呂です。

この玉石も信濃川の河原石から厳選したものです。形や大きさはもちろんのこと、濡れたときの色も揃うように選びました。いわば「大吟醸の石」です。

内田 それを積む職人さんの技もすばらしいものでした。玉石はほ



横川さんは自信作の「玉石風呂」を案内してくれました

かの部分にも多く使っています。

川西町には川西町にしかない「場所の力」があると思います。

これを引き出すのが建築家の仕事だと思って取り組ませてもらっています。

地域の縁側に！

——— 隅々まで「思い」を込めた建築ですね。その建物をどのように使ってほしいですか？

横川 公共施設は「住んでいる人のためのもの」です。陽だまりラウンジやウォール（壁）ギャラリーなどは公民館的な使い方ができるようになっています。温泉に入るだけでなく、文化的な発表や商業活動にも結びつけてほしいですね。そのための種は播かれています。

内田 ふらっと気楽に出かける「地域の縁側」のような場所になつてほしいですね。

建物や人の手をかけて作りました。ですから、使い方も人の手をかけて育てていってほしいと思います。

気持ちよく迎えます！

——— 育てる役を担うまちづくり川西ではどんなコンセプトで準備を進めていますか？

高橋 「気楽に、ゆったり、のん

びり」くつろいでもらうことを基本テーマにしています。

事業としては、福祉、健康、にぎわい（商業）の場作りを進めていきます。その第一段階が温泉施設の運営です。六人のスタッフで気持ちのいい接客に努めたいと思っています。

賑わい空間の最初の施設として独立採算を成り立たせ、まちづくりに貢献したいと思っています。

——— 具体的にはどんな運営を考えていますか？

高橋 まず、十一月二十三日からのオープンイベントで、大勢の住民の皆さんから参加してもらうものを準備しています。

内容についても、ワークショップで皆さんのアイデアを持ち寄ったものをベースに内容を固めています。ミニコンサートや講演、紙芝居などの公演や、体験イベント、屋台出店等を行う予定です。

ここにしかない温泉！

——— 楽しい催しになりそうですね。それ以後の活用については？

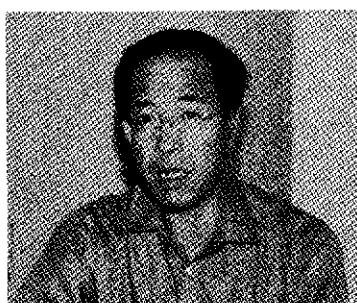
高橋 やはり、住民の皆さんから利用促進に参加してもらう施設にしたいと思っています。

陽だまりラウンジは、芸術作品や保育園児の絵、趣味の盆栽などの展示場として活用できますし、

コンサートも可能です。また雁木空間や駐車場では定期市の開催を予定しています。

あと、温泉まんじゅうや温泉卵など、ここにしかないものを売り出すことにしています。

将来的には、農産加工品や新しい商品を開発して商業振興にも結びつけたいと思っています。



「ホスピタリティを大切にしたい」という高橋さん

——— 気になる入浴料なんです？

高橋 近隣類似施設とのバランスを考えて、大人が五百円で小人が三百円になる予定です。今までの千手温泉が低料金だったので、割高感があるかもしれませんが、施設が充実したことや、事業の独立採算性を考慮してこの料金を考えています。ご理解をいただきたいと思っています。

——— いろんなアイデアがちりばめられ、たくさん可能性を秘めた千手温泉を、大いに利用しないと損ですね。

教室

家族介護教室及び 介護者交流会

介護の工夫、息抜きの方法、健康管理などを講師のお話と介護者同士の交流で学び合いませんか。高齢者などを介護している方、関心のある方の参加をお待ちしています。

◆期日 第一回…十月十九日(金)

／第二回…十一月十四日(水)

／第三回…平成十四年二月二十

六日(火)／第四回…三月予定

◆時間 いずれも午後一時三十分

～三時三十分

◆会場 川西町総合センター

◆参加費 無料

◆内容

第一回

・講演「高齢者に多い心の病気と介護者の心の健康管理」

講師／中条第二病院院長

須賀 良一 氏

第二回

・講演「家族介護の経験からのメッセージ」

講師／呆け老人をかかえる家族の会新潟県支部代表

今井 康子 氏

・介護者の交流会

第三回

・サービスの上手な使い方

・お年寄りの食事の工夫
講師／川西町在宅介護支援センターソーシャルワーカー

押木 茂樹 氏

・介護者の交流会

相談員／今藤 ゆかり 氏

第四回

・介護者の交流会

講師／呆け老人をかかえる家族の会新潟県支部代表

今井 康子 氏

◆問い合わせ先

保健課健康推進係(☎68-3111(内線233))

111(内線233))

料理教室

ーHクッキングヒーター体験

◆日時 十月二十五日(木) 午後六時～八時

◆内容 「秋のひとときのプランチ」・トマトソースから作るラザニア・ブイヤベース風スープ・フルーツレアチーズケーキ

◆場所 東北電力(株)十日町営業所

クッキングスタジオ「エプロン」

◆募集定員 十八人(申込者多数の場合抽選)

◆参加費 五百円

◆持ち物 エプロン

◆申込締切 十月十九日(金)

◆申込先 東北電力(株)お客さまセンター(☎52-3107)

催し

第三十二回中魚沼郡・十日町市 錦鯉品評会

★日時 十月二十日(土) 午前八時三十分～午後二時三十分

★場所 十日町市クロス10

★出品鯉の搬入及び受け付け 午前八時三十分～十時

★一般公開 正午～午後二時

★問い合わせ先 農林課振興係(☎68-3111(内線332))

ふれあいパーティ

グリーンピア津南へ行かなくちゃ!!

縄文の里広域交流

川西町を始めとする近隣市町村の嫁婿対策として企画。すてきな思い出を求めて、ぜひ、お出かけください。

★日時 十一月十一日(日)

★場所 グリーンピア津南

★応募条件 女性…二十歳以上の独身者／男性…十日町市・中魚沼郡在住の二十歳以上の独身者

★募集人数 男女ともに百人

★参加費 女性…二千円／男性…七千円

★応募締切 十月二十二日(月)

★応募・問い合わせ先 役場農業委員会(☎68-3111(内線335))

新しい千手温泉は、どんな建物？

工事現場からの報告 最終回

温泉工事もいよいよ大詰めを迎えています。建物内部の仕上げもほぼ終了し、外部の植栽や構内道路の整備工事に取り組んでいます。庭と植栽のふちどりなどには、おなじみの信濃川産の玉石を随所に工夫をこらして使用しています。また、大浴室の浴槽や露天風呂にも信濃川の川の流れに洗われた美しい玉石を厳選して積みました。どんなお風呂ができていくのかはオープンしてからのお楽しみ！



玉石風呂石積み作業の様子

植栽については、町の木である新緑の美しいブナをところどころに植えています。露天風呂ではのんびりと湯につかりながら四季の移り変わりが楽しめる小さな庭をつくりました。



二月の除雪作業から本格的に始まった工事を振り返ると、瞬間に通り返してしまつたような気がします。様々な工事の工程でお世話になった方々の顔を思い出しては、工事が終盤を迎えていることを実感させられます。

連載七回目を迎えた工事現場からの報告も、今回で最終回を迎えました。皆様をお迎えするまでもう少し工事は続きますが、並行してスタッフによる研修など、十一月二十三日のグランドオープンへ向けての準備が始まります。

新しい千手温泉「千年の湯」をどうぞお楽しみに！

平成十四年度

保育園入所申し込み受け付け

■受付期間

十月二十二日(月)～十一月二十日(火)

■申し込み方法

役場住民福祉課及び各町立保育園に備え付けの「保育所入所申込書」に必要事項を記入し、必要書類を添付して役場住民福祉課福祉係へ提出してください。

■申込書添付書類

・「保育所入所児童家庭調査表」
・入所希望の理由が「疾病・負傷・病人の介護」などとなる方は、医師の診断書が必要となります。

■注意事項

・平成十四年度は、千手保育園において「大規模修繕及び増築工事」を予定しております。千手保育園に入所を希望する未満児(三歳未満)のお子さんについては、千手保育園では保育ができませんので、四月当初から上野保育園に通園(送迎有り)していただくことになります。また、三歳以上のお子さんについては、工事開始(平成十四年八月(九月)から年度末まで千手小学校での保育(予定)となりますので、あらかじめご了承願います。(迷惑をおかけしますが、

ご協力をお願い申し上げます。
・心身の障害などで団体生活ができない児童については、入所できないことがあります。

・家庭内に入所を希望する児童が2人以上いるときは、各児童ごとにお申し込みください。

・引き続き入所を希望する児童で、入所申し込み時に「保育の実施を希望する期間」を就学前までとした児童については、新たに申し込みをする必要はありません。「保育所入所児童家庭調査表」のみ、在園の保育園へ提出してください。

・家庭状況をお尋ねしますので、申込書はご家族の方が持参してください。

■募集人員

施設名	募集人員
千手保育園	80人
南原保育園	45人
上野保育園	60人
橘保育園	80人
仙田保育園	30人
計	295人

■問い合わせ先

役場住民福祉課福祉係(☎68-3111(内線201))



募集

十日町テクノスクール

平成十四年度生徒募集

一般選考(織布科、染色科)

■応募資格

織布科 高等学校卒業見込者、高卒以上の概ね三十五歳までの求職者

染色科 ①織布科と同じ ②中卒以上の求職者

■募集定員 織布科、染色科①②それぞれ十人

■願書受付期間

織布科 十月十七日～三十一日

染色科 ①織布科と同じ ②平成十四年二月五日～三月六日

■選考試験日

織布科 十一月十四日(水)

染色科 ①織布科と同じ ②平成十四年三月十二日(火)

■問い合わせ・申し込み先

〒948-0002 十日町市辰

甲八一六 十日町テクノスクール

(☎57-1105)

生涯学習だより ⑦

高齢者学級で地域を結ぶ!

「何かを学びたい」―そうしたニーズの高まりにこたえて、六十五歳以上の人を対象に、学び・生かしあい、共に育つことを目的とした高齢者学級があります。老いを楽しみ、明日の自分を作るリーダーの育成をめざしながら、今年も様々な活動に取り組んでいます。

その一端を紹介すると、「川西石仏散歩」と名づけて馬頭観音、道祖神、六地藏などを見て歩き、参加者は改めて石仏のメッカであることを知るとともに、信仰心あふれる町柄であることやその保存や手入れなどが行き届いていることに感動しました。また、「瀬替えの郷せんだ」や賑わい空間事業「千手温泉」などの新しい建物にも関心を持ち説明を受けました。

国道二五二号や公園にマリーゴールド、紫サルビアを植えたことも心地良い体験でした。純真無垢な保育園児との「よもぎ菖蒲」は、人生の先輩として心踊るひと幕でもありました。

秋には目的別町外研修として、今話題の「困窮していた長岡藩に米百俵を贈った三根山藩」の米の生産ルーツなどを訪ね、農民魂に触れてみることになっています。

これからの講座も楽しいことが目白押しです。
いま、高齢者学級には、社会変化に対応できる学習こそが求められています。

公民館活動に「夢」や「目標」をもってこそ、楽しさが倍加し数多くの元気老人が生き生きと賑わう町づくりのものになります。「身体が動けば気持ちも起きる」と多様な提案を心がけ、豊かな老後への一助にいただければと念じています。



肩たたきで嬉しいひととき

未知への探究心、人生への興味・歓喜を持つことにさらなる幅を広げ、新しい活動に仲間としてぜひご参加ください。

詳しくは、教育委員会生涯学習課(☎68-2167)へお問い合わせください。

■各コースの日時等

講座名	定員	受講料	期 日	時間(午後)
はじめてのマウス & キーボード 応 用 研 修	12	無 料	11月13日(火)・14日(水)	2時～4時
			12月12日(水)・13日(木)	7時～9時
			3月 7日(木)・ 8日(金)	2時～4時
ホームページ 作 成 研 修	12	無 料	11月 7日(水)・ 8日(木)	7時～9時
			1月10日(木)・11日(金)	2時～4時
Word応用研修	15	2,000円	11月28日(水)・29日(木)	7時～10時
			1月24日(木)・25日(金)	2時～5時
Excel入門研修	15	2,000円	11月21日(水)・22日(木)	7時～10時
			12月20日(水)・21日(金)	2時～5時
			12月26日(火)・27日(水)	7時～10時
Excel応用研修	15	2,000円	1月29日(火)・30日(水)	2時～5時
			3月 5日(火)・ 6日(水)	7時～10時
			3月27日(水)・28日(木)	7時～10時
Web画像加工 入 門 研 修	12	無 料	11月 1日(木)・ 2日(金)	7時～9時
			12月 4日(火)・ 5日(水)	7時～9時

十日町情報館
コンピュータ研修(後期)

■受講資格

キーボード操作(日本語入力)やマウス操作が無理なく行える方

■応募方法

〔往復はがきによる申し込み〕
十月十六日(火)(当日消印有効)

までに、希望コースおよび希望日、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、郵送ください。
※ひとり、二つのコースまで受講可能です。

〔電話・窓口による申し込み〕
十月二十五日(木) 午前九時から受付開始。定員に空きのあるコースが対象。

※往復はがきによる申し込みを優先。

■申し込み・問い合わせ先

十日町情報館
〒948-0072
十日町市西本町二
(☎50-5100)

川西町
にぎわい商品券
が発行されます

川西町の新世紀創造事業の一環として、商工会が事業主体となつて実施するプレミアム付商品券発行事業が、十月十五日から「川西町にぎわい商品券」として実施されます。

この事業は、総発券額三千六百万円で内六百万円分がプレミアム(二割)となり、商品券十二枚綴りが一万円で発売されます。左記のほか詳しくは、商工会(実行委員会)が発行するチラシ等をご覧ください。

◆商品券発売日

平成十三年十月十五日から完売するまで

◆使用有効期間

発売日から平成十三年十二月三十一日まで

◆商品券購入資格

川西町在住の十六歳以上の方(商工会加盟店は除く)

◆商品券販売場所

・千手地区 商工会 (株)くりや商店
・佐渡屋商店
・上野地区 金久商店
・橘地区 (株)ヒノデ
・仙田地区 伊乃助そば店
◆商品券取扱加盟店
・チラシ等でご確認ください

介護認定
審査会事務局
嘱託職員募集

■申込受付
11月9日(金)まで

広域六市町村で共同設置している介護保険の認定審査会事務局の嘱託職員(二人)を募集します。

【業務内容】

介護保険の介護認定審査会の運営(嘱託書記)：会議日程の編成と委員間の調整、資料收受点検・作成、会議運営等

【応募条件】

・十日町市、川西町、津南町、中里村、松代町、松之山町に在住している者

・年齢四十歳から六十二歳までの者(平成十四年四月一日現在)

・高等学校卒業以上の者
・パソコンの操作ができる者
・普通自動車免許取得者

【採用時期】

平成十四年四月一日(予定)

【勤務地】

十日町市クロス10内

【勤務条件等】

①勤務時間
・午前九時から午後四時まで、または午後一時から午後八時までの一日につき六時間。

・審査会の開催に合わせて割り振りますが、午後八時までの勤務が一か月あたり十五日程度になります。

②任用期間

一年間(勤務成績により更新)

③報酬

月額十五万円から十七万円程度

④休日

土・日曜日、祝日、年末年始

⑤休暇

十二日

【応募手続き】

役場保健課介護保険係(ほか広域五市町村)に備え付けの応募用紙に必要事項を自書し、十日町市介護保険課に提出してください。

【申込書の受付期間】

十一月九日(金)まで(郵送の場合、消印は十一月九日まで有効)

【採用の決定】

十一月二十日から三十日の間に予定している面接と提出された書類により決定します。面接日時・会場は、応募者に直接連絡します。

【申込書の提出・問い合わせ先】

十日町市介護保険課介護保険係
〒948-8501
十日町市千歳町三丁目三番地
(☎57-3111)

山野田の話

千手神社境内に「合社記念碑」が立っている。四十年ばかり前までは、四郎兼小路を通じていく稲葉道にあったもので、基盤整備で旧状を一新するのに際して移転されたものである。古い山野田村は、その名が示すように、山すそに近いところまで村立てがはじまった。現在の県道小千谷十日町津南線から、五〇〇ばかり西へ入ったところである。

基盤整備する前には、鎮守・十二ノ浦・十二ノ前などの小字（こあざ）地名があつた。鎮守は、山の神を祀る十二社である。



千手神社に残る合社記念碑

何時ごろ、どのくらいの村ができたものかわからないが、文化元年（一八〇四）に編成された「白川風土記」には、室町時代の永享年中（一四二九～一四四〇）に開設されて、文化初年には戸数八軒と記述されている。

その前の天和三年（一六八三）

ごろは、二軒・十二人・馬一匹とある。すでに述べたように、延享四年（一七四七）作成の千手新田絵図には、山野田村からの転入二軒がある。

『中魚沼郡誌』では、明治四十三年に八軒・五十九人とあり、宮姓が六軒で北村姓が二軒であつたという。

十二社の境内に二本の大杉があつて、「お宮は小さいが、杉の大木は見事なもんだ」と評判され、八海山に登って眺めると、はるか遠い田んぼの中に大杉が見えた

おらういふ話

（第六回）

上野 上村 政基

という自慢話が伝えられていた。

明治四十年に千手地区の七社を合併して千手神社を建てたが、山野田の十二社も加わり、このとき大杉も伐ってしまった。

小千谷から木伐り職人がやってきたというが、切株の差し渡しが大い方は、九尺（直径一・七センチ）もあり、小さい方は四尺だった。鎮守の跡に立てたのが、合社記念碑である。

昔の道筋を見ると、千手新田から東へおりていって孫左衛門渡しで信濃川を越え、十日町を抜けて関東・江戸へ向かうという主要街

道からはずれていたもので、山野田村に町並みができるというようなきつかけはひとつもなく、ただただ稲作に励むだけの村であつた。

明治四十年に小千谷から川西地方を貫いて、旧吉田村・貝野村へ延びる県道ができたけれども、山すそ沿いの山野田にはそれほどほどの影響はなかった。

ところが、大正十三年十月に千手トンネル・十日町橋が竣工・開通し、それにつながる新道も整備されてこれまでの交通事情は一変し、県道沿いに移転した新しい山

野田集落がはじまった。

さらに、昭和初年に千手発電所工事がはじまり、工事事務所が設置されて発電所通りの道も新設されるにしたがつて、いろいろな人たちの出入りがはげしくなった。

鉄道省の職員がハイカラな服装で行き来し、家族と住む官舎も続々と建てられ、建設会社の出張所がいくつも出来た。工事人夫が山のように入り込んで、あちこちに飯場（はんば、作業員宿舎）がつくられた。

コップ酒を出す一杯飲み屋が赤い提灯を入口に吊すと、すぐに女

給さんのいるカフェー・バーも店開きして、若い人たちを誘い込む。山野田は、発電所工事景気で沸き立っていた。

第二次世界大戦後に第三期工事が再開。その後第五期工事まで継続して工事終了、工事事務所も小千谷へ移った。

明治末年には、田畑にかまわっていたわずかに八軒の集落が、時代の流れの中で大きな変化を繰り返したあと、いまは大字山野田の地籍内に、山野田・中島町・発電所通西・発電所通東・南台・鉄道アパート・栄町・山野田住宅・県営住宅・朝日町の町内区分があり、三〇六世帯・一、〇三二人（平成十三年九月）の住民がいる。

孫左衛門渡し

千手発電所のサージタンクの傍を通って妻有大橋へおりていく崖際の道に、孫左衛門橋が架けられている。昔は、坂になっている橋はめずらしいものであり、斜橋と呼ばれる。

妻有大橋の袂の南側に、僅かな戸数の孫左衛門集落があつた。全戸が渡し守のムラで、地元の三階節に、「千手町から十日町 間に千曲の大川 孫左衛門渡しながきやよかる」と歌われ、近郷では誰もが知っている孫左衛門渡しのあるところである。

信濃川の中州に耕地があつて、そこへ往き来するのに舟を使っていたところ、十日町へ行く一般の人たちに頼まれて、渡し舟を営業するようになった。元禄年間のこと



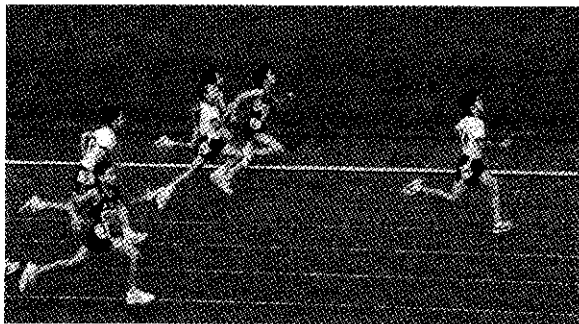
孫左衛門橋から信濃川を望む

ろであつたかと語られている。

宗家の孫左衛門（田中氏）は、高田の武士であつた先祖が、この地へ移って百姓となり、中州を起こして耕地を作ったという。元禄七年（一六九四）改村鑑に、「渡守式軒」とある。

大正十三年の十日町橋竣工で、渡船場としての役割は終わったけれども、昭和初年からの発電所建設工事の拠点となり、昭和八年に架設された軽便線鉄橋は休みなく材料運搬列車が往復して賑やかになった。

洪水で十日町橋が破損すると、この軽便鉄橋を歩いていく一般の人たちが多く、妻有大橋の開通までは、孫左衛門の呼び名は川西郷に行きわたっていたものである。



迫力の100メートル走

先頭は優勝した金子竜美くん（上野小6年）

第5回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果

9月18日、十日町市笹山陸上競技場で、第5回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。

※1位～10位までの上位3位を紹介します。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位とします。

※は大会新記録

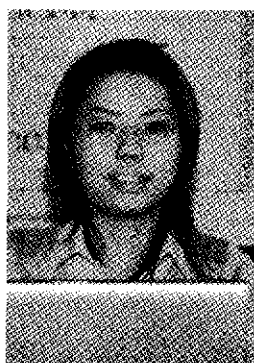
5 年 男 子	5 年 女 子
100メートル	100メートル
①稲田 岳（千手） ②小川諒兵（上野） ③南雲 翔（下条）	①庭野彩花（西） ②保坂美紀（東） ③中川 希（下条）
1500メートル	800メートル
①齊木智裕（鏡島） ⑦平野聖士（千手） ⑨太田 渉（千手）	①保坂美紀（東） ②野上優花（鏡島） ⑨野沢法子（橘）
走り幅跳び	走り幅跳び
①江村優介（西） ③稲田 岳（千手） ⑩田村龍平（上野）	①樋口晴香（水沢） ②高野夏香（馬場） ⑨相崎美耶子（上野）
走り高跳び	走り高跳び
①村山 航（下条） ②川崎茂人（千手） ⑩高橋 惇（千手）	①丸山菜都美（橘） ②味原愛美（十日町） ⑩山口友紀（橘）
80メートルハードル	80メートルハードル
①南雲 翔（下条） ②庭野奏磨（十日町） ⑨数藤拓哉（千手）	①桜井桃子（十日町） ②小川佳那（西） ③春日美晴（西）
400メートルリレー	400メートルリレー
①水沢小 ②下条小 ③千手小（高橋 惇、稲田 岳、川崎茂人、数藤拓哉）	①西小 ②中条小 ⑥千手小（星名里香、小川佳美、榎間香帆、小川さゆり）
6 年 男 子	6 年 女 子
100メートル	100メートル
①金子竜美（上野） ④春日大輝（千手） ⑥田口裕也（橘）	※①曾根瑞希（中条） ②村山未有（東） ⑩北村美加（千手）
1500メートル	800メートル
①阿部将吾（下条） ②渡辺謙人（川治） ⑥村越俊介（橘）	①村山未有（東） ②小林祐佳（下条） ③関谷みなみ（川治）
走り幅跳び	走り幅跳び
①丸山健志郎（千手） ②水落祐太朗（中条） ⑤金子竜美（上野）	①曾根瑞希（中条） ⑤渡辺響子（橘） ⑦高橋未来（上野）
走り高跳び	走り高跳び
①小宮山 諒（中条） ②金沢翔吾（水沢） ⑥小野塚 裕（千手）	①保坂夏代（川治） ④藤巻知美（橘） ⑩星名美佳（千手）
80メートルハードル	80メートルハードル
①水落裕貴（下条） ②藤田 瑠（下条） ④春日大輝（千手）	③蔵品あゆみ（千手） ⑤田村知佳（千手） ⑧南雲春佳（千手）
400メートルリレー	400メートルリレー
①中条小 ②下条小 ③千手小（関口 誠、春日大輝、丸山夏輝、丸山健志郎）	①中条小 ②川治小 ⑤千手小（南雲春佳、北村美加、尾身李奈、蔵品麻弥）
混成400メートルリレー	
①六箇小 ②東下組小 ⑥仙田小（中條知佳、市川ひかる、樋口奈央、増田隼人）	

だんだんとーモ！②

「株まちづくり川西」の巻

「おはようございます。まちづくり川西、中島でございます」元気なまあるい声が、受話器の向こうから響いてきます。

この巻、六日町にある短期大学を卒業した中島瞳さん（21歳・中島町）は、迷わず地元への就職を志望し、「楽しそう、やりがいがありそう」と、株まちづくり川西の一員になりました。



株まちづくり川西は、千手温泉を中心とする賑わい空間全体の企画・運営を進める核となる機関。誰かが教えてくれるのではなく、すべてを自分で切り開いていく充実感が魅力のようです。

「でもいまは、オープン準備で頭がいっぱい。メジャーを持ってテールを計っている夢をみたりするんですよ」と、ころころと笑いながら語ってくれました。

もうすぐその笑顔が、千手温泉の顔になります。

ゲートボール場に 横断歩道出現!

九月二十七日、中子運動場で第二十回郡市高齢者交通安全ゲートボール大会が開催されました。

出場チームは十日町市が六、津南町と川西町が各四、中里村が二の計十六チームで、トーナメント方式で競技が行われました。

この大会は、競技場前に設けられた横断歩道を渡ってゲートボールを開く方式となっていて、単にゲートボールを競うだけでなく、横断歩道の渡り方も審査対象となっていました。さすがは「交通安全」の冠がある大会ですね。

結果は、優勝が高山松寿会、第二位が津南下平、第三位が十日町中央、川西千手、岩瀬亀楽会でした。



手をあげて、横断歩道を渡って第1打

さようなら(仮設の)千手温泉

9月30日で、旧川西幼稚園を改装した千手温泉施設が運営を終了しました。

千手温泉は、平成7年10月にオープンして以来、泉質の良さと手ごろな料金から近隣の人たちの憩いの場として親しまれ、6年の間に61万8千人あまりの入浴者がありました。

9月28日～30日には、千手温泉の利用者が参加して「さようなら公演」が開催されました。会場のホールはぎっしり満員で、まさに立錐の余地もないほどの盛況ぶりでした。



出演者と観客が一体になったステージが繰り広げられました

町内はもとより、近隣市町村からのお客さんが次々に自慢ののどを披露すると、会場からは大きな喝采の渦がわき上がっていました。

みんなの力で福祉まつり

9月30日、川西町総合体育館で、第4回かわにし福祉まつりがおこなわれました。

赤い羽根共同募金やバザーの運営を、ボランティアの皆さんがてきぱきとこなし、福祉用品の展示場では、工夫を凝らした最新の器具に見入る参加者の姿が見られました。

今回、特に関心を集めていたのが車椅子乗車体験で、屋内の小さな段差や道路のちょっとしたギャップでも大きな障害になることに、試乗した参加者は驚いていました。

午後1時30分からは、特定非営利活動法人サービスこのゆびと一まれ理事長の惣万佳代子さんを講師に迎え、「大きな家族のように」と題して記念講演が行われました。



中学生もボランティアとして運営を支えました

現時点での内容は、今も見られる作品の紹介を含めた第一回の記録、開催方針やステージ整備についての第二回最新情報、越後妻有アートネットワーク整備事業についての説明、交通手段や第一回の記録集などの紹介、関係機関へのリンク集とトピックス(新着情報)となっています。今回のトピックスでは、第二回の作品づくりに向けた作家選定のための公募情報

第二回大地の芸術祭に向け、いろいろな形で情報発信を行っています。九月十日より公式ホームページが公開されています。第一回の時も公式ホームページがありましたが、構成を簡素化して、より地域密着の情報を早めに更新しながら提供していきたいと考えています。日本語と英語の両方で紹介しています。

大地の芸術祭 公式ホームページを開設

第二回開催概要や作家公募情報も掲載中――

と、八月にプレイベントとして行われた「風作りワークショップ＆風揚げ」の紹介をしています。



第2回大地の芸術祭
越後妻有アートトリエンナーレ
2003

ECHIGO-TSUMARI
ART TRIENNIAL
2003

ホームページには1日50件以上のアクセスがあります

今後こまめに更新していきますので、時々閲覧してみてください。自宅でインターネットに加入されていない方は、十日町情報館などでご覧下さい。
アドレスは次のとおりです。
<http://www.tiara.or.jp/~kouiki>

里創プラン

通信

25

フォト散歩



九月は稲刈りの月ともいえるほど、各地で一斉に稲刈りが行われました。今年も天候にも恵まれ、順調に作業も進んだようです。昔ながらの手刈り、最新鋭コンバインでの高速刈り取りなど、町内でもいろいろな姿が見られます。そんな姿をひろってみました。



ズームアップ役場

No.6

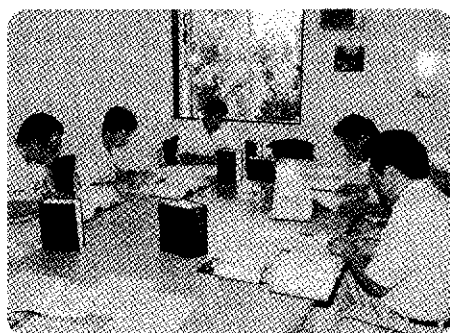
鳩も手伝ってくれ！

役場の業務には、税務課、建設課などのように、個々の業務がはっきり区分できるもののほか、各課の業務を横断するものや、新しい時代をとらえて推進していかねばならない新規分野などがあります。こうした事業を進めていくためには、通常の業務分担では限界があるため、役場の各部署から適任とおもわれる職員を選抜してプロジェクトチームを編成することがあります。

行政改革やIT

推進、地域振興の検討などの分野がありますが、条例や規則など、業務のバイブルとも言える法令を審査する例規審査委員会もそのひとつです。

役場の業務は、極端な言い方をすれば、すべて条例や規則で定められています。逆に言えば、「定められていること以外はできない」ということになります。しか



し、時代の変化や業務の見直しなどにより、現行の法令では対処できないことも出てきます。その場合に行われるのが、条例・規則の新設や改正です。

さて、この条例・規則というもの、体裁から表現方法、改正の順序や言いまわし、書き出し文字の位置や大きさなどがこまめに決められていて、これにのっとった処理をしなければなりません。

担当課で作成した条例案などを、こうした約束事に沿っているか、他の法令と矛盾していないかなどについて審査するのが例規審査委員会です。

こうしたチェックを経て、条例案が議会に提出され、議決を経たあと町長が公布して初めて効力を発します。

この日は、九月議会で審議する条例案などを審査していました。みんなムズかしい顔をしていましたが、これは撮影用の顔……いや、ホントに難しいんです、ほんと。窓の外では、鳩が巣づくりにはげんでいました。

善意

(敬称略)



かわばたの菊

高崎正風選

行く道を一歩進めて天高し
新生妻さらりと洗い食卓に
牛の目の細きまなざし秋の風
稲を刈る音を束ねて積上げし
山野田 藤田ひろ志

広報に
高橋 丑松 (大阪府) 一万四千円
公民館図書に
南雲 春雄 (中央町) 二十六冊
長谷川政巳 (寺尾) 三冊

戸籍の窓から

高砂 二円満に

清水 敬祐 上野
田 辺 希 加茂市
中 村 強 大白倉
タヘルボシタ サルウニ フイリピン共和国

昇天—ごめい福を祈る

南雲 ヤス 99 (善二) 田中町
高橋 シヅ 88 (本人) あかね園
永井 一市 67 (本人) 木落
丸山 セツ 89 (和徳) 根深
高橋 徳平 59 (本人) 中仙田
登坂 六郎 80 (英雄) 岩瀬
村山 トワ 71 (信行) 高原田

うぶ声—おすこやかに

児玉 太一 幸一 上野
仲嶋 嵩人 余奈子 上野
富井 勇登 照子 栄町
村越 鈴果 貞雄 野口
小林 瑞樹 立昌 中仙田
井川 美羽 健久 東善寺
百合子 東善寺
(9月1日、30日届け出願)

休日救急医

10月14日 たかき医院
(土市) ☎58-2361
21日 本町クリニック
(本町3) ☎50-1160
" 上村病院
(口里村) ☎63-2111
28日 小林内科医院
(口条) ☎52-7155
11月3日 富田医院
(発電所西) ☎61-0200
4日 池田医院
(本町西1) ☎52-2581
" 津南病院
(津南町) ☎65-3161
11日 田中外科医院
(田中町本通り) ☎52-2403

足立区 涌井ハル子
稲を刈る日和寸分も余さず
日途立たぬ出店予定地群芒
なにごともなかりし二百十日かな
豊年の心に弾むコンバイン
練馬区 須藤 遊人
自然美を探れば深し秋の山
奉祝の二字を浮き出す火花かな
元町 田畑 吉治

父母偲び供うも煮や秋彼岸
声弾みワインを作るぶどう摘む
霜条 蔵品ハツエ
コンバイン日和り相手に稲を刈る
夕焼に明日の日和りを折りけり
大倉 中條 石平

暮き替えの屋根職人に残暑かな
新米の出来を諸手ですくひ見る
小白倉 江口みゆき
こおろぎの来るや大根間引く手に
孫からの電話のうれし敬老日
八王子市 松浦 サク
朝口さす盛りの胡瓜少しもぐ
中屋敷 金子 鉄平

十月十日は目の愛護デー

◎目の働き

目は五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)の中で脳に伝える情報量が最も大きく、人間が外界から受け取る情報の大半は視覚によって得ています。まさに目は外界に向かって開かれた窓といえます。

この働きは、目の形や大きさを性質により、ものの形や大きさを見分け(形態覚)、色がわかり(色覚)、明るさ暗さといった光の存在を見分ける(光覚)といったことができます。

◎目の成長と老化

目の構造は、すでに赤ちゃんのときにできあがりますが、大人と同じような目の働きができるようになるのは六歳ころまでかかり、目の成長は、からだの成長が止まる二十歳過ぎまで続きます。目の一生は、軽い遠視から始まり小・中・高校の成長とともに近視が多くなり、二十歳過ぎで安定します。

しかし、水晶体と呼ばれる部分は一生成長を続け、生まれたときはゼリー状のものが、年をとるにしたがって硬くなりピント合わせのできる範囲が小さくなって、個人差もありますが四十五歳ころから老眼を自覚するようになってきます。目の検査に眼底検査と呼ばれます。

る検査があります。目の病気を検査するものではありませんが、からだの中でただひとつ血管を直視できる場所です。目の血管も脳の中の血管もだいたい同じです。目の血管をみれば全身の血管の状態を推測することができます。まさに老化の観察が目をおしてできるというわけです。

◎目をいたわりましょう

目は非常に敏感な感覚器官であり、起きている間ずっと目を使っていることから考えると丈夫な器官でもあります。最近、職場や家庭にOA機器がずいぶん普及してきました。こうした機器は大変便利ですが長時間使用することにより目の疲れやドライアイなどの目の障害を起こすことがあります。

◎目の疲労を防ぐには

目の筋肉は、からだの中で最もデリケートな筋肉で、からだの疲労がすぐ目に現れてきます。「充分な睡眠をとる」「休養をとる」などに努めてください。OA機器を使うときは「画面がまぶしくないよう部屋全体を明るくする」「画面を見下ろす位置にする」「一時間作業したら十分休む」「姿勢に気をつける」などの注意が必要です。

ちいさな展覧会

154

川西中学校

「構成」

1年生 小川知美さん



「構成」

1年生 高橋直一さん



「水ばしろう」

2年生 中條愛美さん



「風」

2年生 渡辺友貴さん



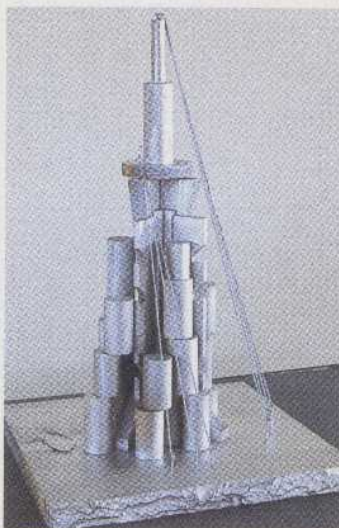
「みらくる」

3年生 小海知美さん



「未来図塔」

3年生 斎藤準樹さん



体育祭のマスコット

「確驊」

3年生 宮健之さん
高橋佳広さん



「覇鯨」

3年生 木村直貴さん
丸山裕貴さん



「緋虎」

3年生 貴田裕明さん
石川忍さん



(11月号は千手小学校です)

ついでに

役場庁舎のすぐ隣にメタセコイアの木がある。隣家の庭木だが、庁舎の無機質な雰囲気と和ませるのに一役買っている。窓からの眺めはなかなかのもので、窓枠を額縁に見立てると一幅の絵のようにも見える。四季の表情もいい。その木にキジバトが巣をかけた。山にいくと「でっばーばー」と鳴いてのどかさを演出してくれるあの鳩だ。



幹と枝の間の、まわりから見えないところ、巧みに営巣している。役場のある会議室からは、巣そのものは見えないものの材料運びをして盛んに出入りする姿がよく見えた。一羽が卵を暖めている時は、一方が屋上でじっと見張りを続けている。

カタイ会議でも、そんな姿を見るとほっとする。いや、そればかりを見ていたわけじゃないです、念のため……